

令和8年1月29日

## 高田警察署スクールサポーター＆警察官来校 SNS被害防止教室(4~6年)&交通安全教室(全校)

1月29日(木)に、高田警察署スクールサポーターと警察官に来校していただき、4~6年生はSNS被害防止教室、全校児童に交通安全教室(自転車)を開きました。

SNS被害防止教室では、4年生以上に確認すると、ほとんどの児童がスマートフォンを持っていました。トラブルや被害に遭わないようにするために、過去の事件やそれに関する法律などを教えていただきました。

交通安全教室では、4月1日から道路交通法の改正により、16歳以上の自転車での違反者に「青切符」が導入されます。そのようなことから、再度、自転車の乗り方について、講習を受けました。

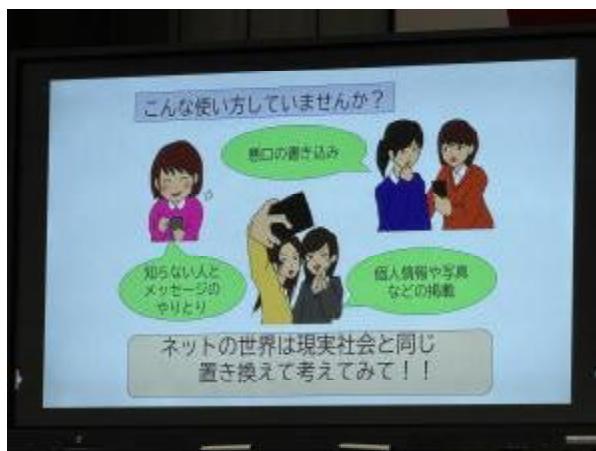
### 【2時間目】SNS被害防止教室（4~6年生）

高田警察署スクールサポーター



①言葉だけでは誤解が生じる。相手に対し思いやりを持ち、言葉を慎重に書くことが大切だと教えていただきました。

②オンラインゲームによる被害、なりすましなどの被害などの事例のお話を全員が真剣にお話を聞いていました。



③ネットの世界は現実社会と同じで、置き換えて考えることが大切だとお話をされました。

### 【ネットの世界で忘れてはいけないこと】

○ネットの世界では、たとえ子どもがしたことでも、一人の人間として扱われ、**自分で責任を取らなければならない**。

○自由な情報や動画の配信は、人の心や人格を傷つけることもあることから、配信前には読み直すなどの慎重な配信を心がけることを忘れてはならない。例えば、**対面で言えないことを配信してはならない**。

○ネットの向こうでは、**悪い人たちが罠を張って待ち構えていることを忘れない**。

○困ったときは一人で悩まず、**周りの人と相談する**。

### 【3時間目】交通安全教室（全校児童）

高田警察署警察官



④自転車は「自分で運転する車」です。



⑤命を守るヘルメットは必ずかぶることを教えてくださいました。

#### 【青切符の対象となる違反行為と反則金】



⑥自転車が通れる歩道を走る場合は道路に近い方を走らなければなりません。外側は歩行者優先です。

○携帯電話機の使用	反則金12000円
○警報器が鳴っている踏切への立ち入り	反則金7000円
○信号無視	反則金6000円
○車道の右側通行	反則金6000円
○逆走や歩道通行	反則金6000円
○無灯火	反則金5000円
○傘差し運転・イヤホンを使用しながらの運転	反則金5000円
○ブレーキがきかないなど	反則金5000円
○一時不停止	反則金5000円
○2人乗り	反則金3000円
○2台以上の横並び走行	反則金3000円

#### 保護者の皆様へ

現在、SNSを通じたトラブルは低年齢化をしており、「自分だけは大丈夫」という油断が一生消えない公開につながるケースが増えています。是非、ご家庭でも以下の3点を話題にしてみてください。

・「写真は一度送ったら戻せない」

軽い気持ちで送った自撮り写真が悪意のある人によって拡散されるリスクを具体的に伝えましょう。

・「ネット上の『優しい人』の正体」

悩みを聞いてくれる「親切なアカウント」が実はなりすましの人である可能性があります。

・「家庭内ルールの再確認」

「夜〇時以降はリビングに置く」「困ったらすぐ親に言う」など、叱るためではなく、守るためのルールを話し合ってください。お子様が被害者にも加害者にもならないよう、学校と家庭で連携して見守っていきましょう。

自転車での事故も増えています。自分の命を守ることはもちろん、自転車も歩行者を傷付けたり、命を奪うこともあります。是非、ご家庭でも以下の3点を話題にしてみてください。

・ヘルメットの着用…頭部を守ることが命を守る第一歩です。

・止まる・見る・待つ…飛び出しをせず、必ず自分の目で安全を確認すること。

・自転車の点検…ブレーキの効きやタイヤの空気など、一緒にチェック。